



横山大観《喜撰山》1919(大正8)年 紙本・彩色 山種美術館蔵

第 124 期

2022年4月1日～2022年9月30日

中間株主通信

株式会社ヤマタネ

証券コード：9305

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

第124期上半期（2022年4月1日から2022年9月30日まで）の株主通信をお届けするにあたり、決算概況等につきましてご報告申し上げます。



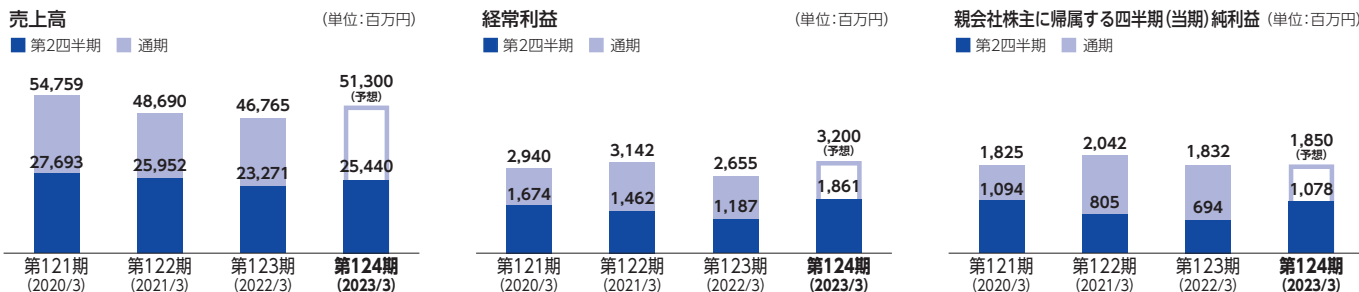
## 第124期（2023年3月期）上半期実績と通期見通しについて

第124期上半期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症への行動制限が緩和され、社会経済活動の正常化が進む中、緩やかな景気の持ち直しの動きがみられました。一方でウクライナ情勢の長期化や資源価格の高騰に伴う物価上昇、急激な円安等、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況下で、当社グループで実施してまいりました投資案件のうち、昨年8月に開業した大規模複合用途ビルKABUTO ONEは順調に稼働しております。本年2月に開設した印西精米センターは最新の機械設備導入による省エネ化とともに、生産効率も向上し順調に稼働しております。4月に100%連結子会社化しました（株）シンヨウ・ロジも堅調な業績で推移しております。また、新型コロナウイルス感染症への行動制限が緩和されたことを背景に、物流部門では国内業務における業務用飲料等の荷動きや海外引越が回復基調となっております。食品部門も、前年比較においては堅調な販売となり、当社グループの経営成績は、前年同期を上回る業績となりました。

この結果、売上高は254億40百万円（前年同期比9.3%増）、営業利益は19億円（同41.0%増）、経常利益は受取配当金の増加や支払利息の減少等もあり18億61百万円（同56.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は10億78百万円（同55.3%増）となりました。また、上半期業績は期初の業績予想に対し、営業利益

## 連結業績ハイライト



(業績予想比35.7%増)、経常利益(同44.3%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益(同60.9%増)ともに上回っております。物流部門においては国内、国際ともに荷動き等が回復したため、売上高、利益ともに予想を上回りました。食品部門においては精米販売数量の計画未達により、売上高は予想を下回りましたが、利益面では印西精米センターで生産効率の向上に努めたこと等が寄与し、予想を上回りました。

第124期下半期につきましては、新型コロナウイルス感染症の第8波の感染拡大の懸念はあるものの、引き続き感染対策と社会経済活動の両立が進められると予想される一方で、資源価格の高騰に伴う物価上昇や急激な円安等、不透明な状況は続くと思っております。

このような状況下で、燃料費や人件費等各種コストの増加が予想されます。しかしながら、引き続き荷動きや経済活動は堅調に推移すると見込み、上半期までの業績等を踏まえ、2023年3月期の通期連結業績予想につきましては、当初予想を修正し、売上高513億円(前年同期比9.7%増)、営業利益は33億円(同9.9%増)、経常利益は32億円(同20.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は18億50百万円(同0.9%増)といたしました。

## 2 中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」の進捗について

当社グループは、本年5月に長期ビジョン「ヤマタネ2031ビジョン」を策定、公表いたしました。当ビジョンでは、当社グループの企業理念である「信は万事の本を為す」に則り、パーパス(存在意義)を「多様な人財が集い、社会に貢献する力を生み出す」と掲げ、目指すべきビジョンを「物流と食の流通を通じ、より豊かな社会づくりにチャレンジしていく」としております。また、当ビジョンの第1フェーズとして中期経営計画「ヤマタネ2025プラン」を策定しております。当中期経営計画では「チャレンジ領域」と「コア事業領域」に分けて各部門ごとに目標を掲げております。

「チャレンジ領域」では、物流部門は新たに子会社となった(株)シンヨウ・ロジを足掛かりに新たに食品量販店センター運営に進出しており、今後既存事業とのシナジーの創出を目指します。「コア事業領域」では、大手食品メーカーのVMI物流(Vender Managed Inventory:在庫を減らすための手法の一つで、「ベンダー主導型在庫管理」を意味します)に参画し、サプライヤーとメーカー工場を繋ぐ結節点の役割を果たすことで物流の効率化への貢献を目指しております。来年1月には危険品倉庫を建築しVMI物流の効率性を更に高めてまいります。食品部門では、印西精米センターにおいて最新機械設備の活用と一拠点集約により、品質の向上と生産効率の向上を実現しております。更に配送センター機能によって流通コストの低減に努めてまいります。また、産地の課題解決に向け新たな取組みに着手し、産地との結びつきを強化しております。

全社横断的な取組みとしては、「チャレンジ領域」として本社が所在する越中島地区開発の方向性の検討に着手しております。また、教育・研修制度を高度化し、人的資本への投資を拡充しております。当期は、中期経営計画の財務目標のうち、営業利益、EBITDAの達成を見込んでおります。

企業を取り巻く環境は変貌し先行き不透明感が増しております。そのような状況下ゆえに、より高度なサステナビリティ経営が求められております。当社グループでは、中期経営計画とともにサステナビリティ目標(詳細は、P5サステナビリティをご覧ください)の達成に向け着実に施策に取り組んでまいります。

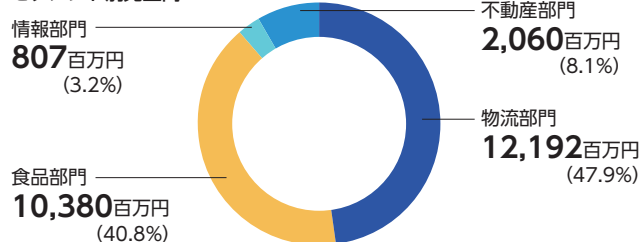
株主の皆様におかれましては、何卒一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2022年12月

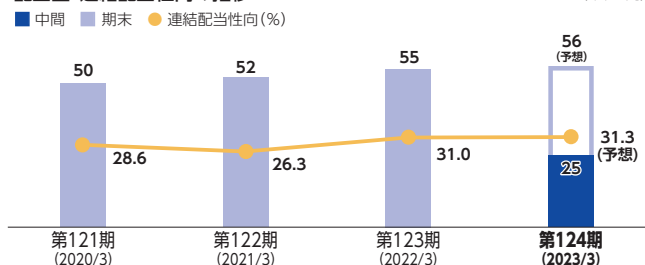
代表取締役社長

山崎元裕

セグメント別売上高



配当金/連結配当性向の推移

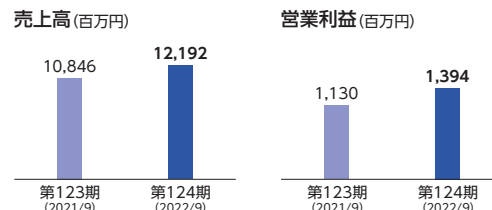


安定配当の基本方針を維持しながら株主の皆様への利益還元を強化するため「累進配当」を行うこととしております。

## 物流部門

■ 売上高 12,192百万円 ■ 営業利益 1,394百万円

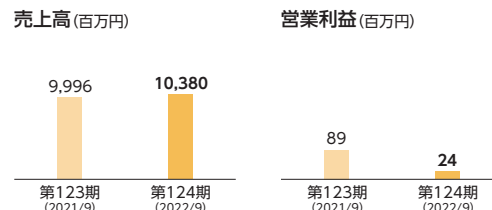
物流部門では、国内業務においては、コロナ禍における行動制限が緩和され社会経済活動の正常化が進む中、業務用飲料等の荷動きが回復基調となり、更に前期よりお取引が始まった新規荷主も業績に寄与いたしました。国際業務においても行動制限の緩和が進む中、海外引越を中心として取扱件数は前年同期を上回りました。また、4月に100%連結子会社となった(株)シンヨウ・ロジも堅調な業績となり、売上高は121億92百万円(前年同期比12.4%増)、営業利益は13億94百万円(同23.4%増)となりました。



## 食品部門

■ 売上高 10,380百万円 ■ 営業利益 24百万円

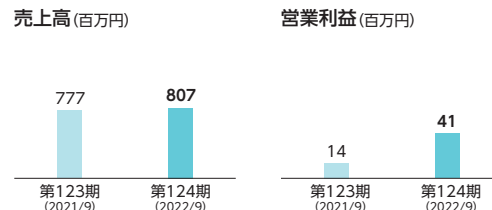
食品部門においても、社会経済活動の正常化が進む中、外食業界の需要は回復基調となり、量販店向けの販売も堅調に推移したことで、量販・外食向けである精米販売は30千玄米トン(前年同期比18.5%増)となりました。玄米販売は米価の先高感を受け、他卸売業者や一般小売店が令和3年産米を積極的に調達したこと、また、令和2年産米を計画的に販売したことにより、13千玄米トン(同9.3%増)となり、総販売数量は44千玄米トン(同15.5%増)となりました。この結果、売上高は103億80百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益は本年2月に稼働した印西精米センターの減価償却費の費用増等により24百万円(同72.9%減)となりました。



## 情報部門

■ 売上高 807百万円 ■ 営業利益 41百万円

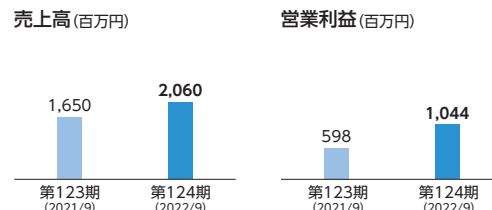
情報部門では、常駐型ビジネスでの汎用機基盤の開発、運用業務の新規獲得、拡大等により、売上高は8億7百万円(前年同期比3.8%増)となりました。また、営業利益は前期に実施したグループシステム基盤構築のシステム投資費用の剥落等があり41百万円(同199.6%増)となりました。



## 不動産部門

■ 売上高 2,060百万円 ■ 営業利益 1,044百万円

不動産部門では、昨年8月にKABUTO ONEが開業したこと等により、売上高は20億60百万円(前年同期比24.8%増)となりました。また、営業利益は前期に計上したKABUTO ONEの不動産取得税等の剥落があり10億44百万円(同74.4%増)となりました。



## 株式会社シンヨウ・ロジの全株式取得（子会社化）のお知らせ

当社は、2022年4月1日に株式会社シンヨウ・ロジの発行済全株式を取得いたしました。

同社は、生鮮食品をはじめとした食品全般の日配及び食品量販店のセンター運営等を主業とし、トランスファーセンター（TC）型の冷凍冷蔵保管や冷凍冷蔵配送にノウハウを有しております。今後、当社の物流事業及び食品事業との事業シナジーを創出してまいります。

(株) シンヨウ・ロジの概要	
名 称	株式会社シンヨウ・ロジ
所 在 地	千葉県千葉市美浜区高浜2丁目1番地15号
事 業 内 容	生鮮・食品などを扱い荷とした一般貨物運送事業及び倉庫事業 他
資 本 金	200万円
設 立 年 月 日	1972年6月
ホームページURL	<a href="https://shinyo-logi.net">https://shinyo-logi.net</a>

## 株主優待制度の変更（拡充）に関するお知らせ

当社ではこれまで、株主の皆様へ日頃からのご支援に対する感謝の気持ちとして、9月末日時点の当社株主名簿に記載されている株主様に山種美術館のカレンダーをお届けしておりましたが、この度株主様への優待を拡充いたしました。

従来のカレンダーに加えて、3月末日時点の当社株主名簿に記載されている株主様のうち、当社株式を300株以上保有されている株主様には、当社が選定したその年の良品を「プレミアム米2キロ」として贈呈いたします。更に、300株以上の株式を5年以上継続して保有されている株主様には「厳選こだわり米2キロ」も贈呈いたします。「厳選こだわり米」は当社が生産や流通過程において新たに産地と取組みを行っているお米をご紹介を兼ねて贈呈いたします。

厳選こだわり米のパッケージデザインには、当社が地域コミュニティーの一員として“地域社会の発展と共生社会の実現”の一助となるべく協賛している、一般社団法人アートパラ深川およびアートパラ深川おしゃべりな芸術祭実行委員会主催の「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」において、2021年度「ヤマタネ賞」に選出させていただいた、さくらゆき氏の作品『みんな意味がある』を使用しております。



▲厳選こだわり米イメージ

# 当社は本年度、2030年サステナビリティ目標を策定いたしました。

## 取組み重点テーマと2030年目標

### 環境に配慮した 事業活動の推進



- 温室効果ガス排出量削減
- エネルギー使用量の削減
- 廃棄物及び有害物質の管理

2030年  
目標

GHG排出量削減 2013年度対比 ▲50%以上

### 製品・サービスの品質向上



- 安全、安心な商品・サービスの提供
- 安全衛生の推進
- 個人情報保護及び高度なデータセキュリティ
- リスクマネジメント

2030年  
目標

重篤な労働災害事故<sup>※1</sup> 0件  
ISO9001認証取得 全拠点(営業倉庫/精米工場)  
個人情報漏洩事故 0件

### 人財の多様性と 活躍の促進



- 生産性向上による働き方改革
- 人財育成及び教育
- 女性活躍を含む多様な人財の活躍推進
- 差別防止及び社会的弱者への配慮

2030年  
目標

有給休暇取得率 80%以上  
女性管理職比率<sup>※2</sup> 20%以上  
キャリア採用者の活躍促進

### 地域コミュニティ及び 生産地と農業の発展



- コミュニティへの参画及び発展への寄与

2030年  
目標

地域社会の文化活動への貢献  
大規模災害発生時の官民連携を推進  
産地・行政・取引企業とのコンソーシアム構築

### 持続可能なコメ調達の推進



- 持続可能な材料調達と効率的な使用

2030年  
目標

産地のブランド化による持続的営農の実現

### コーポレート・ガバナンスの深化



- 経営の健全性の確保、効率化の追求、透明性の向上、再現性の堅持
- リスクマネジメント
- 適正な情報開示

2030年  
目標

取締役会によるリスクと機会の把握と適切な対処  
重大なコンプライアンス違反 0件

※1 重篤な労働災害事故

① 死亡、長期療養を要する（または可能性のある）疾病、障がいの残る（または可能性のある）怪我、特定伝染病 ② 一時に3人以上の労働者が業務上死傷または罹病した災害（不休含む）

※2 対象範囲：株式会社ヤマタネ

## 地域コミュニティ及び生産地と農業の発展



当社は、重点テーマに掲げる「地域コミュニティ及び生産地と農業の発展」への取組みにおける「地域社会の文化活動への貢献」の一環として、多くの地域イベントに協賛しております。



「アートパラ深川おしゃべりな芸術祭」(P4参照)では、フェスティバルパートナーとして協賛するとともに、作品の保管場所を提供しました。

また、2022年度「ヤマタネ賞」として渡部一喜氏の『永代橋、深川と共に』を選出させていただきました。



都立木場公園で開催された「第40回江東区民まつり 中央まつり」に出店協賛し、『お米のすくい取り』を実施しました。こどもから大人まで、およそ700名にお越しいただきました。



本社ビルに隣接する深川スポーツセンターで開催された「深川っ子運動会」にはおよそ500名の地域住民の皆様が参加し、レースや玉入れなどの催しが行われ、当社は景品としてお米を提供しました。

四季折々の豊かな自然に恵まれた日本。人々はその姿を、古くから美術の題材として描いてきました。特に19世紀、江戸後期には、街道が整備され人々の旅に対する意識が増し、日本各地の宿場や名所を捉えた歌川広重の浮世絵風景画が高い人気を得ます。明治に入ると、西洋の写実的な風景画が日本にもたらされたことや、日本各地の風土への関

心が高まった風潮により、目の前に広がる身近な自然が描かれはじめます。さらに昭和の戦後には、抽象的な表現や画家の心象風景も取り入れられ、日本の風景の描かれ方が多様化していきました。

本展では、江戸時代から現代の画家による数々の優品を通して、日本の風景の魅力をご堪能いただければ幸いです。

<b>展覧会名</b>	【特別展】日本の風景を描く —歌川広重から田淵俊夫まで—
<b>会期</b>	2022年12月10日(土)～2023年2月26日(日) ※会期中、一部展示替えあり。 前期12/10(土)～1/15(日)、後期1/17(火)～2/26(日)
<b>会場</b>	山種美術館
<b>主催</b>	山種美術館、朝日新聞社
<b>協賛</b>	SMBC日興証券
<b>開館時間</b>	午前10時～午後5時 (入館は閉館時間の30分前まで)
<b>休館日</b>	月曜日 [1/9(月)は開館、1/10(火)は休館、 12/29(木)～1/2(月)は年末年始休館]

<b>入館料</b>	一般1,300円・中学生以下無料(付添者の同伴が必要です) 【冬の学割】大学生・高校生500円 ※本展に限り、通常1,000円のところ半額。 入館日時のオンライン予約ができます (詳細は当館Webサイトをご覧ください)。
<b>お問い合わせ</b>	050-5541-8600 (ハローダイヤル)
<b>URL</b>	<a href="https://www.yamatane-museum.jp/">https://www.yamatane-museum.jp/</a>

## 今後の展覧会

【特別展】  
世界遺産登録10周年記念  
富士と桜 —北斎の富士から土牛の桜まで— (仮称)  
2023年3月11日(土)～5月14日(日)

## ● 株主優待

基準日	保有株数	継続保有期間	優待内容
9月末日	100株以上	—	山種美術館カレンダー1部 贈呈
3月末日	300株以上	—	当社製品プレミアム米2キロ 贈呈
3月末日	300株以上	5年以上(*)	厳選こだわり米2キロ 贈呈

- (\*) 5年以上継続保有の株主様とは、3月末と9月末の株主名簿に連続して11回以上、同一株主番号で記載された株主様といたします。  
(\*) 3単元(300株)以上の株式を5年以上継続して保有している株主様は、プレミアム米2キロに加え、厳選こだわり米2キロの合計4キロを贈呈いたします。

## ● 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月開催  
基準日 定時株主総会 毎年3月31日  
期末配当金 毎年3月31日  
中間配当金 毎年9月30日  
そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社  
株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 (郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(インターネット ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/>  
単元株式数 100株  
公告の方法 当社のホームページに掲載する。  
<https://www.yamatane.co.jp/>  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して公告する。  
上場証券取引所 東京証券取引所

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

### 株式に関する住所変更等のお手続きおよびご照会について

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。  
証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

### 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といひます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。